

列を含む評価関数が最小になるように定式化した変分原理を用いるデータ同化手法の一種、衛星データなどで鉛直1次元で行う1DVAR、空間3次元で同化する3DVARと時間軸も加えた4次元で行う4DVARがある。

VTPR: Vertical Temperature Profile Radiometer
鉛直温度分布放射計

WCRP: World Climate Research Programme 世界気候研究計画

リトリvable 衛星観測の放射強度などから気温などの物理量への変換(リトリブ)を行う方法

以下は本文中で便宜上用いた表記で、必ずしも一般的に確立したものではない。

NRA1: 1948~98年の51年分が既に完成し、引き続き準リアルタイムで続行中のNCEP-NCAR Reanalysis, Reanalysis1とも呼ばれる。

NRA2: NRA1で既知の問題点を可能な限り修正した上で実行中のNCEP-DOE AMIP-II Reanalysis, Reanalysis2とも呼ばれる。

参考文献

大野木和敏, 露木 義, 松村崇行, 高野清治, 谷貝 勇, 楠 昌司, 田中 博, 谷田貝重紀代, 1998: 再解析に関するWCRP第1回国際会議の報告, 天気, 45, 475-482.

Ohmura, A. and N. Reeh, 1991: New precipitation and accumulation maps for Greenland, J. Glaciol., 37, 125.

2000年度東レ科学技術研究助成の募集

標記の助成は東レ科学振興会が運営しているものです。興味のある方は下記の要領で応募して下さい。

(1) 候補者の対象

国内の研究機関において基礎的な研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者

(2) 助成の内容

総額1億3千万円、1件3千万円程度まで10件程度

(3) 推薦件数制限

1学協会から2件以内

この助成の応募には学会の推薦が必要です。気象学会の推薦を希望する方は、9月22日(金)必着で気象学会(右記)あて申請して下さい。推薦用紙等は6月

頃に学会事務局に届く予定です。応募件数が左記(3)の制限を超えた場合の扱いは学会に一任して下さい。

連絡先: 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁内 日本気象学会

学会外各賞候補者推薦委員会

付記:

(1) 東レ科学振興会から「東レ科学技術賞」の候補者推薦依頼が併せられています。これについては、昨年気象学会から推薦した候補者が今年度も引き続き審査対象になる見通しであるため、気象学会として新たな推薦は行わない予定です。

(2) 推薦用紙は下記ホームページからもダウンロードできます。

<http://www.toray.co.jp/kagaku.html>